

nikko am

Nikko Asset Management

日興グラビティ・アメリカズ・ファンド <愛称 ビバ・アメリカズ>

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第12期（決算日2024年9月27日）

作成対象期間（2023年9月28日～2024年9月27日）

第12期末（2024年9月27日）	
基準価額	45,766円
純資産総額	8,683百万円
第12期	
騰落率	35.4%
分配金（税込み）合計	0円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興グラビティ・アメリカズ・ファンド」は、2024年9月27日に第12期の決算を行いました。

当ファンドは、主として、北米および中南米各国の金融商品取引所に上場されている株式のうち、米国経済の隆盛から恩恵を受けると考えられる企業の発行する株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっておりまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<653292>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号

www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

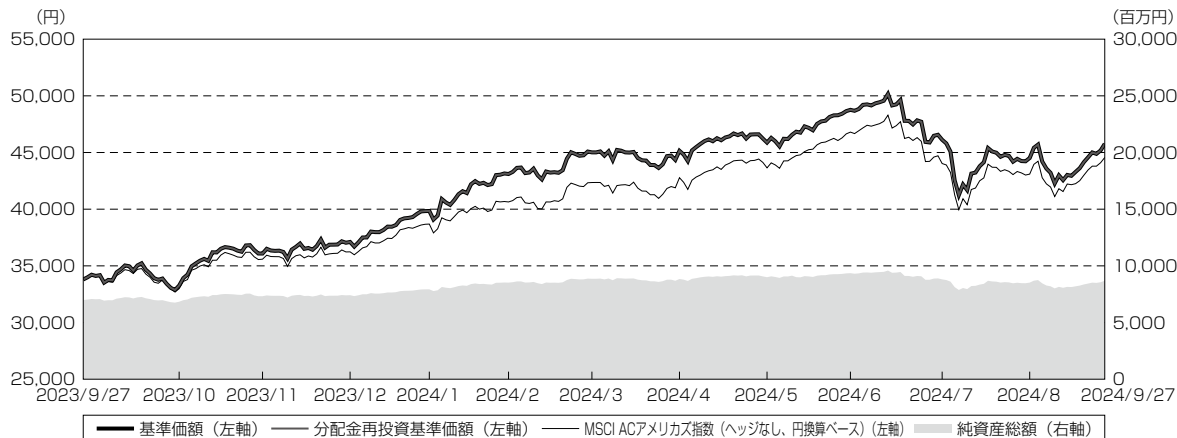
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年9月28日～2024年9月27日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCI ACアメリカズ指数(ヘッジなし、円換算ベース)は、期首(2023年9月27日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) MSCI ACアメリカズ指数(ヘッジなし、円換算ベース)は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、北米および中南米各国の金融商品取引所に上場されている株式のうち、米国経済の隆盛から恩恵を受けると考えられる企業の発行する株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・米国連邦準備制度理事会(FRB)が利上げを停止し、利下げを開始する可能性が高まったこと。
- ・収益性の高い事業への追い風などで、一部の資本財企業の株価が好調に推移したこと。

<値下がり要因>

- ・雇用関連指標の悪化などを受け、米国景気が後退するとの懸念が強まったこと。

・業績の低下傾向から一部のエネルギー企業の株価が低迷したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2023年9月28日～2024年9月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	円 814 (389) (389) (37)	% 1.958 (0.935) (0.935) (0.088)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供などの対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	3 (3) (0)	0.008 (0.008) (0.000)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株式) (投資信託証券)	0 (0) (0)	0.001 (0.001) (0.000)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用等) (その他)	21 (7) (2) (9) (3)	0.050 (0.017) (0.004) (0.021) (0.007)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資 金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	838	2.017	
期中の平均基準価額は、41,588円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

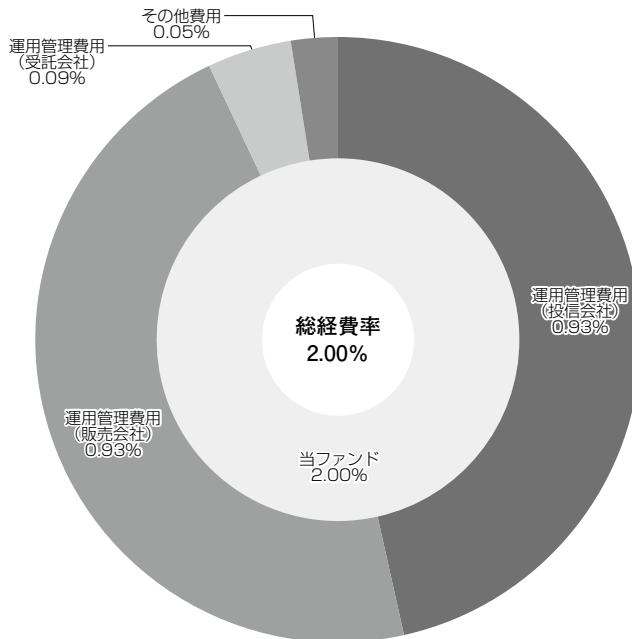
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)**○総経費率**

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.00%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

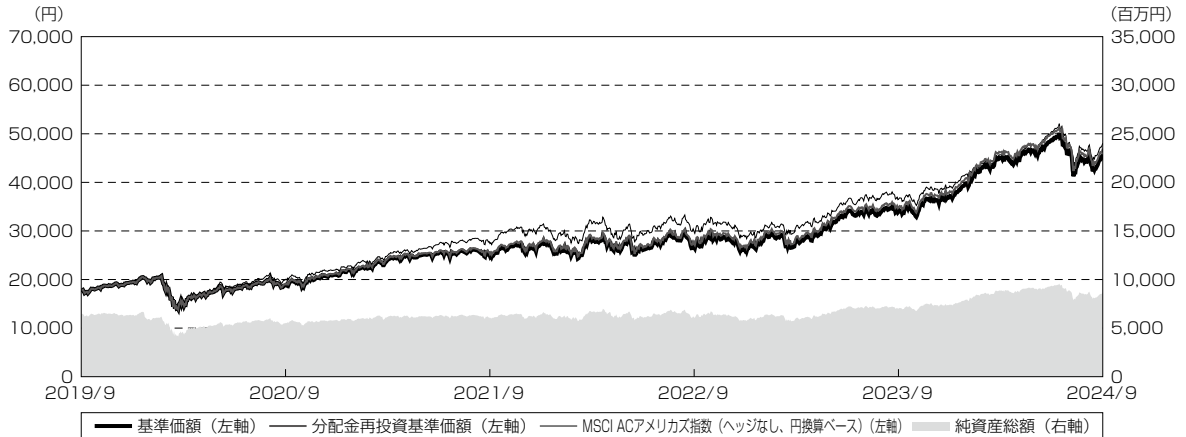
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2019年9月27日～2024年9月27日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCI ACアメリカズ指数(ヘッジなし、円換算ベース)は、2019年9月27日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2019年9月27日 決算日	2020年9月28日 決算日	2021年9月27日 決算日	2022年9月27日 決算日	2023年9月27日 決算日	2024年9月27日 決算日
基準価額 (円)	17,838	18,420	25,379	26,450	33,798	45,766
期間分配金合計(税込み) (円)	—	200	200	200	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	4.4	38.9	5.0	27.8	35.4
MSCI ACアメリカズ指数 (ヘッジなし、円換算ベース) 騰落率 (%)	—	9.6	44.1	6.3	21.8	31.8
純資産総額 (百万円)	6,423	5,370	6,150	6,045	6,986	8,683

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) MSCI ACアメリカズ指数(ヘッジなし、円換算ベース)は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境

(2023年9月28日～2024年9月27日)

(株式市況)

当期間の米国株式市場は、F R Bの金融政策およびインフレ動向といったマクロ要因に左右される状況が続いたことに加え、生成A I（人工知能）関連企業の株価が主導する展開となりました。期間の初めの2023年10月は、米国長期金利の上昇や地政学的リスクの高まりなどから、株式市場は下落しました。その後、政策金利は据え置かれたものの、12月の会合で、事実上の利上げ打ち止めが示唆されたことや、利下げ開始時期が意識されたことなどを受け、株式市場は堅調に推移しました。中でも生成A Iに対する成長期待から、ハイテク銘柄を中心に半導体産業の成長を先取りする形で軒並み上昇しました。

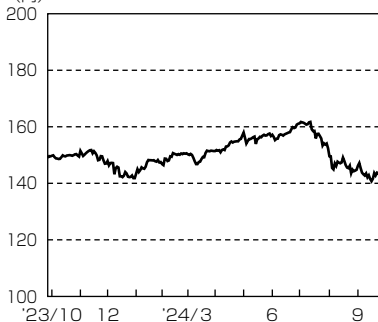
2024年に入り、F R Bが市場の早期利下げ期待をけん制するような場面も見られたものの、株式市場は概ね堅調に推移しました。4月には、雇用統計や消費者物価指数（C P I）が市場予想を上回る内容となったことを受けて早期利下げ観測が後退したことや、地政学的リスクの高まりなどを受けて、株式市場は一時調整されましたが、注目された半導体関連銘柄の業績が市場予想を上回る結果となったことが、株式市場を下支えする要因となりました。しかし、7月に入るとこれまで堅調であったハイテク株から小型株への資金シフトが見られるようになりました。そして、8月の初めには雇用関連指標の悪化を受け、景気減速懸念が急速に強まったことなどから、株式市場は大幅に下落しました。その後、8月半ばにかけて、一部の経済指標が底堅い結果となったことに加え、F R Bが次回の会合で利下げに踏み切るとの見方が強まったことなどから、8月後半の株式市場は回復傾向となりました。期間末にかけても景気の後退懸念が強まる場面がありましたが、米国株式市場は期間中のほぼ高値圏での越期となりました。

中南米の主要国市場は、期間の前半は米国市場と同様な値動きとなり、期間の後半はアンダーパフォームする展開となりました。

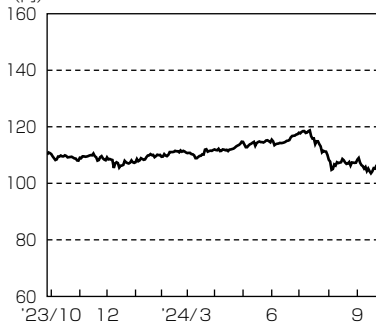
(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

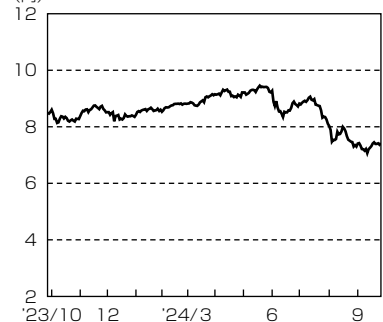
円/アメリカドルの推移



円/カナダドルの推移



円/メキシコペソの推移



当ファンドのポートフォリオ

(2023年9月28日～2024年9月27日)

(当ファンド)

当ファンドは、収益性を追求するため、「パン・アメリカ株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(パン・アメリカ株式マザーファンド)

米国経済の隆盛から恩恵を受けると考えられる企業に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないました。

株式の銘柄選定にあたっては、市場動向や銘柄毎の成長性、流動性、そしてバリュエーション（価値評価）などを勘案して行ないました。

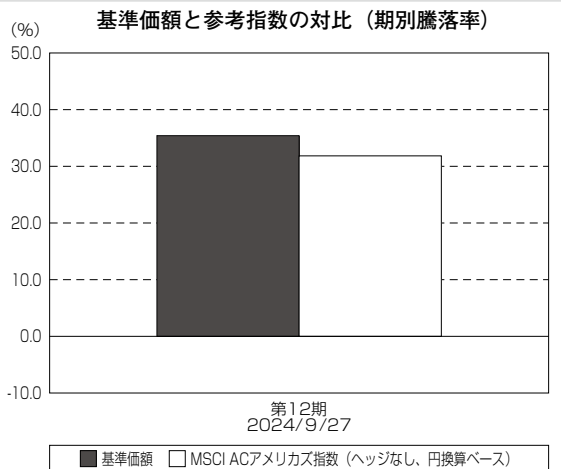
具体的には、資本財セクターや公益セクターなどの銘柄に積極姿勢で臨んだ一方で、金融セクターの銘柄やバリュエーションの割高な銘柄には消極姿勢で臨みました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年9月28日～2024年9月27日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) MSCI ACアメリカズ指数（ヘッジなし、円換算ベース）は当ファンドの参考指数です。

分配金

(2023年9月28日～2024年9月27日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第12期
	2023年9月28日～ 2024年9月27日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	35,766

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**(当ファンド)**

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「パン・アメリカ株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(パン・アメリカ株式マザーファンド)

当戦略でフォローしている世界株式のバリュエーションは10年平均より割高な水準にあります。また一部の銘柄への資金の集中、収益モメンタムの鈍化、雇用関連指標への警戒感などを理由に、慎重な見方をしています。当戦略では、不安定な相場を乗り切ることができる耐久性があると考えられる企業を中心とする、質重視のポートフォリオの構築を図っていきます。

企業は現在の経済状況を踏まえ、最適な従業員数や配置について精査しており、いくつかの業界では採用凍結やレイオフを実施しています。現在の需要を反映させるため、従業員数を最適化しようとする企業の取り組みがさらに進むと予想していますが、これはおそらく将来の実質賃金と家計消費に悪い影響を与えると考えます。当戦略では現在、消費者関連銘柄を消極姿勢としています。一方で、金利の低下はバイオテクノロジー企業などの資金調達に好影響を与える可能性があり、ヘルスケア関連に新たな投資機会を見えています。具体的には、ライフサイエンス・ツールやサービスのサプライチェーン(供給網)に係る企業などに恩恵があるとみられます。

電力関連やそのインフラ、航空宇宙、AIに関連する企業は、ペースは減速しているものの、引き続き受注が増加しています。当戦略は、これらの持続的成長に注目しエクスポージャーを維持していますが、バリュエーションが割高であることからやや消極姿勢で臨んでいます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

2023年9月28日から2024年9月27日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

当ファンドについて、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、当該ファンドにて行なうデリバティブ取引および外国為替予約取引の利用目的を明確化すべく、2023年12月28日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（付表、第21条、第22条、第23条、第28条）

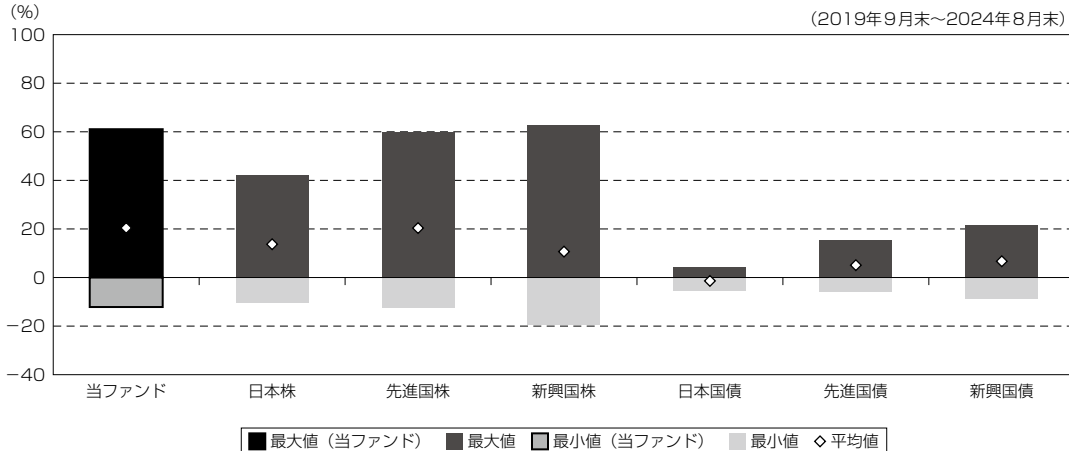
当ファンドについて、その商品性、基準価額水準および純資産規模等を勘案し、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、信託期間を無期限とするよう、2023年12月28日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第4条、第55条）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2012年12月27日から原則無期限です。	
運用方針	主として「パン・アメリカ株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日興グラビティ・アメリカズ・ファンド	「パン・アメリカ株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	パン・アメリカ株式マザーファンド	北米および中南米各国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
運用方法	主として、北米および中南米各国の金融商品取引所に上場されている株式のうち、米国経済の隆盛から恩恵を受けると考えられる企業の発行する株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。株式の銘柄選定にあたっては、市場動向や各銘柄毎の成長性、収益性、流動性などを勘案して行ないます。株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	61.1	42.1	59.8	62.7	4.4	15.3	21.5
最小値	△12.1	△10.4	△12.4	△19.4	△5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	20.4	13.7	20.4	10.7	△1.4	5.1	6.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年9月から2024年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドの参考指数について

●MSCI ACアメリカズ指数 (ヘッジなし、円換算ベース)

「MSCI ACアメリカズ指数」は、「MSCI Inc.」が発表している、南北アメリカ大陸の主要国の株式市場の合成パフォーマンスを表す指数です。同指数の (ヘッジなし、円換算ベース) とは、米ドル建ての指数をヘッジを行わずに円換算したものです。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2024年9月27日現在)

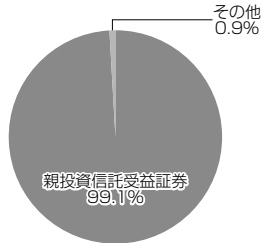
○組入上位ファンド

銘柄名	第12期末
パン・アメリカ株式マザーファンド	99.1%
組入銘柄数	1銘柄

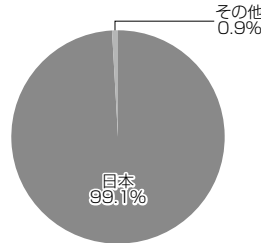
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

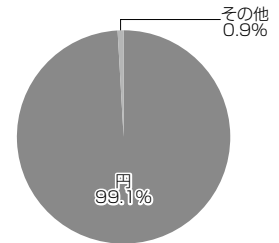
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第12期末
	2024年9月27日
純資産総額	8,683,246,410円
受益権総口数	1,897,301,061口
1万口当たり基準価額	45,766円

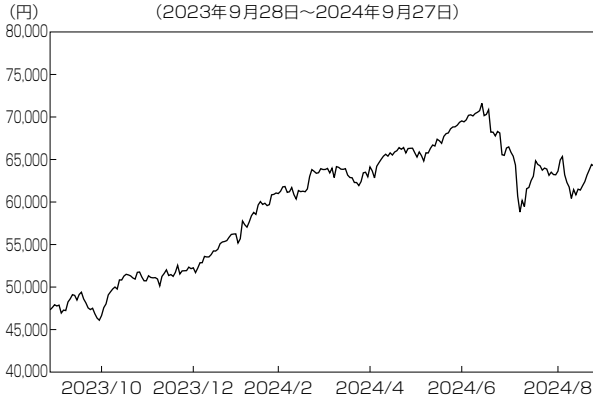
(注) 期中における追加設定元本額は67,004,043円、同解約元本額は236,764,980円です。

組入上位ファンドの概要

パン・アメリカ株式マザーファンド

【基準価額の推移】

(2023年9月28日～2024年9月27日)



【1万口当たりの費用明細】

(2023年9月28日～2024年9月27日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式 投 資 信 託 証 券)	5 (5) (0)	0.008 (0.008) (0.000)
(b) 有価証券取引税 (株 式 投 資 信 託 証 券)	0 (0) (0)	0.001 (0.001) (0.000)
(c) その他費用 (保 管 の 他 費 用 そ の 他)	14 (10) (4)	0.024 (0.017) (0.007)
合 計	19	0.033

期中の平均基準価額は、58,922円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

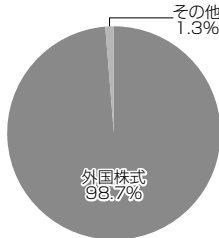
【組入上位10銘柄】

(2024年9月27日現在)

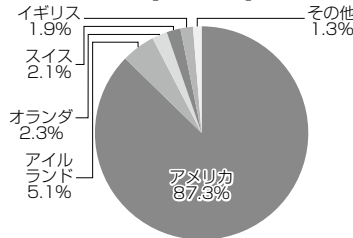
順位	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	7.1%
2	REINSURANCE GROUP OF AMERICA	保険	アメリカドル	アメリカ	5.4%
3	AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス流通・小売り	アメリカドル	アメリカ	4.9%
4	META PLATFORMS INC-CLASS A	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	4.5%
5	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカドル	アメリカ	4.3%
6	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	3.8%
7	LINDE PLC	素材	アメリカドル	アイルランド	3.3%
8	TRANSUNION	商業・専門サービス	アメリカドル	アメリカ	3.0%
9	AMERICAN EXPRESS CO	金融サービス	アメリカドル	アメリカ	2.9%
10	ALLSTATE CORP	保険	アメリカドル	アメリカ	2.8%
組入銘柄数			39銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

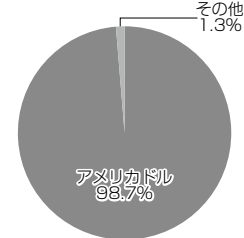
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。